

「履歴書」「研究業績書」「教育業績書」記入要領

1. 記入にあたって

- (1)年の表示は、西暦で記入してください。
- (2)記載事項がない場合は空欄にせず「特記事項なし」と記入してください。
- (3)*印の箇所は○で囲んでください。
- (4)「業績書」は過去5ヵ年程度を目安に記入してください。特に記入したい事項等についてはこの限りではありません。
- (5)「業績書」については、記入用紙以外で既に作成されている場合は、任意の用紙（A4版）を添付してください。

2. 「氏名」欄について

- (1)氏名は、必ず自筆で記入してください。
- (2)印鑑は、必ず押してください。（電子印不可。外国籍の方はサインでも可。）
- (3)旧姓等通称名の使用を希望する場合は、「通称名（戸籍名）」で表記してください。
なお、別途「通称名使用届」を提出していただきます。（採用選考後、別途ご案内します）
- (4)英字氏名は、パスポートと同じ表記を記入してください。

3. 「学歴」欄について

- (1)高等学校もしくは高等専門学校又はこれらと同等と認められる学校の入学以降の学歴のすべてについて「在学期間（年月日）」「学校名等」「卒業・修了・満期退学・その他の別」を入学年月順（過去から現在）に記入してください。
- (2)外国留学について、学生として留学した場合は学歴欄に記入してください。
- (3)研究生、聴講生等も学歴欄に記入してください。
- (4)記入日時点で在学中の場合は、学校名の後に『（在学中）』と記入してください。

4. 「職歴」欄について

- (1)すべての職歴（自営業・主婦・無職等を含む。）を記入し、学歴とあわせて空白期間が無いように記入してください。
- (2)現職については、勤務先名の後に『（現在に至る）』と記入してください。

5. 「専門分野」欄について

- (1)「専門分野」の欄には、別紙の[専門分野コード表]を参照のうえ、細目名の名称を用いて、専門分野の主なものを3つ以内で記入してください。
- (2)「専門分野のキーワード」の欄には、研究内容を表すキーワードを記入してください。（複数可）

6. 「取得学位」欄について

- (1)「学位名（学士・修士・博士・専門職）」「取得年月日」「取得機関」「取得方法」を、取得年月日順（過去から現在）に記入してください。海外の高等教育機関等で取得した学位については、正式名称を原語のまま記入してください。
- (2)学位名の表記については、取得年月日により以下のとおりとなります。
1991年6月以前に学位を取得した場合は、『○○学修士』『○○学博士』と記入してください。

【記入例】『教育学修士』『工学博士』

1991年7月以降に学位を取得した場合は、『修士(〇〇)』『博士(〇〇)』と記入してください。

【記入例】『修士(教育学)』『博士(工学)』

7. 教育業績書「教育上の能力に関する事項」欄について

(1)教育方法の実践例

優れた教育方法の実践例、マルチメディア機器を活用した授業方法、学生の授業外における学習促進のための取り組み、ティーチング・アシスタントの活用、講義内容のWeb上での公開等を記入してください。

(2)作成した教科書、教材

作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書、及び講演会等の発表については、裏面の2. 著書・教材・講演等の教育業績に記入してください。ここでいう著書とは、研究業績に属さない教育業績としての著書を示します。

(3)教育上の能力に関する大学の評価

各大学の自己点検、評価等で教員個人が教育面で高い評価を受けた場合、学生による授業アンケート調査の結果、大学が実施したファカルティ・デベロップメント関係の調査結果等で、客観性を持ったものについて、記入してください。

(4)実務に関連した教育経験

大学から受け入れた実習生に対する指導歴(企業実習等)、企業内教育、社会教育講座の講師としての講義概要、海外における留学、調査研究等を記入してください。

■企業、官公庁等の研究者の場合

- ・開発した新製品・製法、作物等の新品種などの概要
- ・大学との共同研究による研究実績がある場合、その概要、成果、当該研究者の役割

■その他、企業・団体等関係者の場合

- ・国際援助・開発、先端技術、国際金融等高度に専門的な実務に従事した実績

■情報技術関係者の場合

- ・コンピュータに係る職歴(職務上のコンピュータ活用方法、ソフト・システム開発歴)

■マスコミ関係者の場合

- ・執筆した記事、作成した番組等の概要

■福祉その他社会的活動の関係者の場合

- ・参加した活動や団体の名称、活動内容・期間、本人の活動における地位

■スポーツ等実技関係者の場合

- ・指導者としての経歴・実績・資格

■芸術関係者の場合

- ・作品の概要

■博物館、美術館等関係者の場合

- ・担当した展覧会の概要、執筆・監修した展覧会図録の概要

(5)その他

大学教育改善に関する団体・委員会等での活動概要、教育実績に関する受賞歴など、(1)～(4)に該当するもの以外の事項について幅広く記入してください。

以上